

戦闘に巻き込まれる懸念認めぬまま

3/29
早稲

日報公表後一転「撤回」

安保法施行後の1年とPKO日報問題

| | | |
|---------|------------------------------------|---------|
| 3月 29日 | 安全保障関連法施行 | は日報問題関連 |
| 7月 10日 | 参院選。南スーダンPKO部隊の日報が「ジュバ市内で戦闘が生起」と記録 | |
| 8月 24日 | 駆け付け警護など安保法新任務の訓練開始 | |
| 9月 19日 | 安保法成立1年 | |
| 30日 | フリージャーナリストの男性が7月のPKO部隊日報を情報公開請求 | |
| 11月 15日 | 駆け付け警護など新任務付与 | |
| 12月 2日 | 陸自が日報を廃棄したとして防衛省が不開示決定 | |
| 24日 | 日報の廃棄を本紙が報道 | |
| 2月 7日 | 防衛省が一転、日報を一部黒塗りで開示。統合幕僚監部が保管と説明 | |
| 3月 10日 | 政府が南スーダンPKOを5月末に撤回と発表 | |
| 15日 | 陸自による日報保管が判明 | |
| 18日 | 陸自隊員5人を南スーダン政府軍が一時拘束 | |
| 24日 | 稲田防衛相が南スーダンPKO部隊に5月末までの撤回を命令 | |

安保法施行きよ1年

集団的自衛権の行使を可能にし、自衛隊の海外活動を拡大する安全保障関連法の施行から二十九日で一年となった。この間、陸上自衛隊が南スーダン国連平和維持活動（PKO）部隊を派遣する首都ジュバでは、昨年七月に大規模衝突が発生。先月、一部黒塗りで公表された当時の部隊の日報は、現地情勢について「戦闘への巻き込まれに注意が必要」と記していた。「巻き込まれ」の懸念は、国会論戦などでも再三指摘されたが、政府は認めよつしなかつた。（新開浩）

稲田防衛相は二十八日の記者会見で「駆け付け警護の新任務付与など、具体的な取り組みが進んでいることは安保法の目的を実現する上で極めて重要」と評価した。現地の治安については「極めて厳しい。派遣部隊の撤回が無事に終わり、帰国するまで緊張感を持って進めたい」と述べた。

現地情勢が厳しいのは今に始まったことではない。ジュバで大規模衝突が起きた昨年七月十日の日報は、市内で「戦闘が生起」と明

記。十二日の日報まで「戦闘への巻き込まれ」の懸念を連日報告した。

昨年秋の臨時国会では、現地の治安が懸念される中でPKO部隊の派遣期間を延長し、隊員の武器の

使用範囲を拡大する駆け付け警護を付与することの是非が論戦の焦点となった。

民進党の大串博志政調会長は、昨年九月末の衆院本会議で「紛争に巻き込ま

れる可能性をどう認識しているのか」と追及。安倍晋三首相は安全を確保できる範囲内で駆け付け警護を実施するとし、「巻き込まれ」の危険性を否定した。

当初は陸自が廃棄したと説明した日報を、防衛省が今年二月に公表すると、政府は空勢を一転させた。今月、南スーダンから五月末までに撤回する方針を発表した。

3/29
星福

PKO派遣意義検証を



柳沢協三さんの
ウオッチ
安保法制

元内閣官房副長官補

安全保障関連法の施行から一年が過ぎた。この間、南スーダン国連平和維持活動(PKO)に派遣された陸上自衛隊の部隊に、安保法に基づき駆け付け警護な

どの新任務が付与された。これまででは実施されず、政府は部隊の五月末までの撤回を決めた。

隊員は一人の犠牲者も出さず帰国してほしい。撤回が完了しても「犠牲者が出ず、よかった」と思考停止せず、現地の危険と、それでも派遣を続けた意義を国会で検証する必要がある。与野党は審議を通じ、最低限の共通認識を形成する努力をすべきだ。隊員や国民の命に関わる安保法の適切

な運用方針を、国民の代わりに決めることは、国会の最大の使命だ。

駆け付け警護は、活動中の自衛隊の近くで非政府組織(NGO)の職員らが襲われた際、隊員が武器を持って緊急的に保護に向かう任務だ。政府は事前に十分な訓練を積むことで、隊員自身のリスク軽減にも役立つと説明してきた。しかし、現地の治安悪化は深刻だ。今月二十五日には、陸自部隊が活動する

首都シユバから郊外に向かうNGO職員六人が、何者かに襲撃され殺害された。

隊員が危険な派遣地で任務を行うには、自分が犠牲になっても、究極的には大きな意義の実現に役立つという確信が必要だ。南スーダンPKOの大義は何か。大義への確信を、大多数の国民は共有しているのか。

自衛隊員は、国の安全保障を担うプロとして政治が命じた役割をこなす。問題は政治の側にその自覚があるのかということだ。

(寄稿)